

都市の地下には 思わぬ災害が

市内には飲食店や店舗、駐車場など地下の施設がたくさんあり、毎日多くの市民のみなさんが利用しています。地下の施設は、豪雨や洪水時には浸水することもあります。浸水が激しくなると地下では逃げ場がなく、大きな災害になる恐れもあります。豪雨や洪水時の地下利用には十分注意しましょう。

地下室は 短時間で冠水状態に

豪雨や洪水の時、まちに水があふれると、水は地下など低い所に急激に集中します。地下への浸水は入り口に道路面よりも高くなつたステップなどがあれば防げることもありませんが、これがないとすぐに始まり、百平方メートルほどの地下室なら二十分くらいで冠水すると言われています。

浸水が始まると 脱出は困難に

浸水が始まると、閉まっている扉の向こう側に水が溜まり、扉は外開きでも内開きでも

開けにくくなります。

また階段も、流れ込む水の勢いに逆らって上るのは困難になります。さらに、浸水で停電して、暗くて見えなくなり、エレベーターも止まってしまいます。防火戸なども停電すると閉まるものがあります。このように地下への浸水が始まると脱出は非常に難しくなります。

